

中学校・特別支援学校中学部会

集団としてのきまりを尊重し規範意識をはぐくむ道德教育
 一生徒どうしの共感する力や思いやりの心，協力し合う態度の育成を通して—
 三原市立第五中学校

1 研究の特色 (1) 規範意識の高揚を図る取組

規範意識の向上には，共感的で良好な人間関係の醸成が重要であり，思いやりのある集団づくりを行う必要がある。そこで，学級の傾向を把握し，課題の明確化と課題解決に向け，道德教育の要となる道德の時間の在り方や各教科等における道德教育などについて研究を行い，生徒の規範意識の高揚を図る。具体的には，次のような取組を中心に研究を推進してきた。

- ① 「規範意識」の高揚のための3年間を見通した重点的指導
 要となる道德の時間の充実はいうまでもなく，全教育活動において規範意識をはぐくむための教育活動を推進することにより，生徒の規範意識の醸成を図る。また，生徒会を中心に道德的価値を意識した目標を定め，生徒が主体的に活動する取組を進める。
- ② 対人関係能力の育成を図る生徒指導の充実
 共感する力や思いやりの心，協力し合う態度の育成に向け，生徒相互及び生徒と教師間の良好な人間関係の育成を図るための対人関係能力を育成する生徒指導を行う。

(2) 研究推進体制の確立

道德教育推進委員会の開催
 ○道德教育推進教師を中心に，週1回委員会を持ち，分掌・学年・教科担当と連携し，推進体制の確立を図る中で，道德教育を推進している。

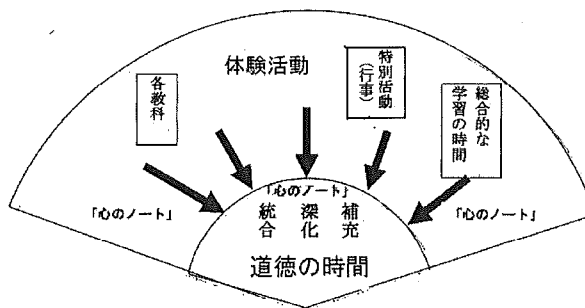
担 当	内 容
1年 道德担当	「こころのノート」活用に関する事
2年 道德担当 (道德教育推進教師)	地域教材開発（今年度は，スポーツ分野で作成）に関する事
3年 道德担当 (研究主任)	道德教育の研究に関する事
学活担当代表者	「人間関係」「規範」を意識したソーシャルスキルに関する事

- ・講師を招聘しての研修，エンカウンターなどを取り入れての研修などを通して全員の意思統一を図るために校内研修の企画・立案を行う。
- ・学年会においてはTTによる道德の授業，指導案検討，資料及び教具の準備，データの保管等を行う。

(3) 全教育活動における道德教育と道德の時間

道德教育は，道德性を養うことを目標として，各教科，総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて，生徒の発達の段階を考慮して適切な指導を行わなければならない。

道德の時間は，学校の教育活動全体を通じて行われる道德教育の要の時間としての役割を担



っている。各教育活動における道徳性，なかでも「規範意識」に重点化した指導を行い，道徳の時間は，その不十分さを補充し，自覚に至るよう深化し，すべての価値に出会えるように統合する時間とした。また，「心のノート」は，学習指導要領に示された内容がわかりやすく書かれており，これを様々な活動に取り入れることで補充・深化・統合するための潤滑油の役割をなすと考えた。

「規範意識をはぐくむ」ために，各学年において次のような視点で目標を設定し，道徳の時間の年間指導計画に活かしている。

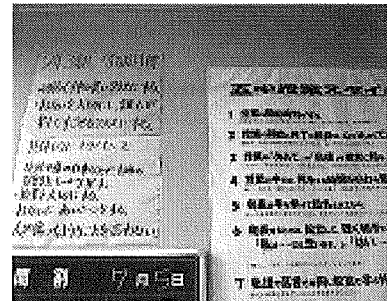
	視点	学年目標	重点主題	教材例
第1学年	規範の理解	基本的な社会のルールや公共のマナーを知る。 (自分を見つめる)	礼儀，公德心	裏庭のできごと 半分おとな半分子ども 人に迷惑をかけなければいいのか 島耕作 ある朝の出来事
第2学年	規範の納得	社会生活の基盤として，何故きまりやルールがあるのかについて考え理解する。 (自分を考える)	正義，きまりの遵守	違反摘発を受け臨終に間に合えず 錆びた自転車 路上に散った正義感 ひとりぼっち タッチアウト
第3学年	規範の納得と実践	時と場に応じたよりよい判断をし，理想の実現を目指して行動させる。 (自分を伸ばす)	社会連帯，社会の秩序と規律	よみがえれ日本海 この子のために 健の苦悩 元さんと二通の手紙 心がひとつに

2 実践事例

① 日常的な取組

【指導基準の明確化と徹底】

- ・授業規律「五中授業スタイル」の確立
- ・生徒指導に係る指導基準を生徒，保護者に知らせておく。
- ・学校や社会のきまり・ルールを守ることの意義・重要性について全校朝会，学年朝会，学級活動・ホームルーム活動等で繰り返し指導し，生徒の規範に対する認識を高める。



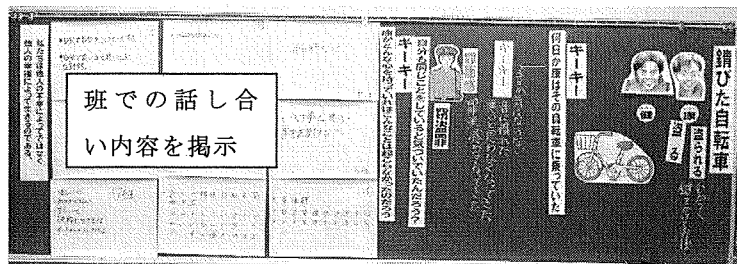
② 道徳の時間の充実

【規範意識「法の遵守」についての授業実践例】

- ・資料名 「錆びた自転車」 【著者】岩手県公立中学校教諭
- ・主題名 法の遵守 内容項目 4-(1)

この資料は中高生の生徒たちの日常生活でありがちな自転車を無断借用し，乗り捨てるといった触法行為を扱った資料である。

授業では，資料を配らず読むことにより授業者に集中させた。さらに，グループ討議を取り入れ個人の意見を



出しやすくしたり、心情カード・役割演技や班での話し合い活動を取り入れたりした。

授業では、盗られても「盗ってはいけない」(規範意識)と盗られたから「盗ってもいい」(本人の気持ち)という場面を中心に考えることができた。また、自分の弱い心を克服するにはどうするかについて考えを深めることができた。

(生徒の感想から)

康君は自転車をだまって借りていった時に、少しためらったけどそこで、やめていればよかったと思う。早く友達の家に行きたい気持ちも分かるけど、僕はそういうことをしないように気をつけたい。今日は、役割演技もやって康君の気持ちが良く分かったので良かったです。

③ 特別活動の充実

○ 学校行事(運動会、文化祭等)での体験活動の充実

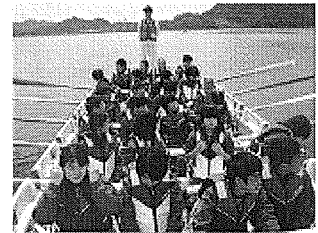
自分もだれかの役に立っているという体験を積むことで、自己有用感を高める活動を実施する。

体験活動は、生徒が主体的に行動しようとする意志を育てる上で有効であり、道徳の授業でルールやマナーの道徳的意義について考え、体験活動でその意味を具体的な体験を通して理解することで道徳的実践力を高める。

【体験活動実践例 第1学年集団訓練】

○ 目的

集団で行うカッター訓練などを通して、規範意識と仲間意識の大切さに気づかせる。また、他の施設の指導者の下で行動することで、あいさつや礼儀の大切さや感謝の心を育てる。



○ 関連的指導

・ 道徳の時間

[主題名] 集団生活の向上

[内容項目] 4-4

[関連項目] 2-2 一人ひとりを大切にできる心

[資料] ONE FOR ALL 【出典】道しるべI (正進社)

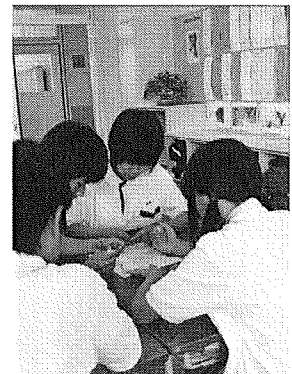
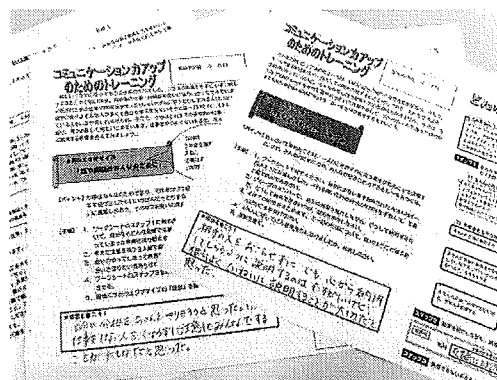
[ねらい] 一人一人を大切にしながら、協力し合い、よりよい集団生活を築きあげようとする態度を身に付けさせる。

【学級活動実践例 ソーシャルスキル】

○ 人間関係及び規範意識をはぐくむために「コミュニケーションアップのためのトレーニング」を計画的に全学年で実施

4月「ズバリ!私はだれでしょう」、5月「私の発達曲線」

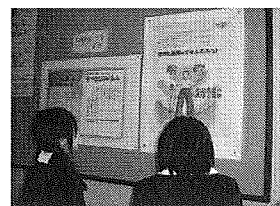
6月「係や掃除はみんなのために」、7月「みんなで決めたルールを守ろう」等



④ 「心のノート」の活用

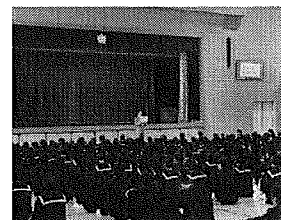
【学校環境】

「心のノート」の規範意識に関するページを掲示し、意識づけを図った。この掲示は、生徒だけでなく、来校される保護者や地域の方々に学校が取り組んでいることを理解していただく場となっている。また、各学年の掲示板には学年の目標に応じた資料を掲示している。



【全校朝会】

「第五中学校で誇れるものはなんだろうか」というテーマで、校長が「心のノート」p106～109をもとに全校生徒に語りかけた。その後、学級での話し合いでは、自分が誇りに思うこととして、「あいさつをする時、頭を下げている時間が長い」「部活動が熱心である」などの意見が出た。

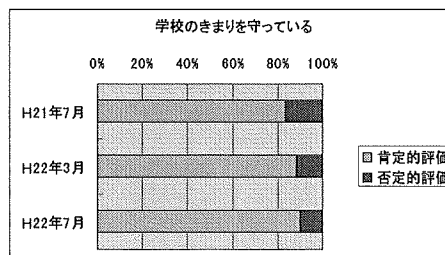
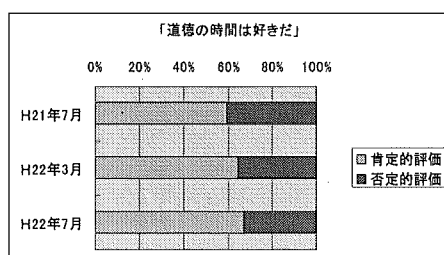


【学級懇談会】

学級懇談会では「心のノート」を活用し、生徒の学校での様子を話したり、家庭での様子を交流した。

3 研究の評価 (1) 評価方法

- ① 各種テスト
 - ・ 道徳性検査「ヒューマン」年2回
 - ・ hyper-Q U (学級満足度尺度, 学校生活意欲尺度, ソーシャルスキル尺度) 年2回
- ② 質問紙による方法
 - ・ 道徳アンケート・生徒指導アンケート・教職員アンケート
 - ・ 毎時間の生徒による授業評価表
- ③ 作文や心のノート, 生活ノート, ワークシートへの記述内容
- ④ 観察による方法
 - ・ 体験学習, 清掃活動, 日常の行動等



(2) 成果と課題

【成果】

- ・ 道徳アンケートの結果, 大きな変化は見られなかったが学校のきまりを守ろうとする生徒自らの動きが見られた。
- ・ 全教員が道徳の授業に関わることで資料分析や指導の流れ, 発問などを工夫し指導技術を高めることができた。

【課題】

- ・ 世代間の価値観の違いを知り, 家庭や地域でも道徳についての関心を高め, 理解を深めてもらうために, 保護者・地域参加型の授業等を計画的に行っていく。
- ・ 来年度以降も規範意識をはぐくみ, 全教職員による継続的な取組を行う必要がある。